学習到達目標

R4.3.大垣市立中川小学校

中学校・外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり※育成することを目指す。　※学習指導要領参照

話す（やり取り）	話す（発表）	書く	聞く	読む
＜中学校第３学年＞ 日常的な話題や社会的な話題について，客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見・主張とその理由等を、対話がより継続・発展するように，聞き手の理解の状況を確認しながら、相手からの質問に対して適切に応答したり、自ら質問をし返したりするなどして、工夫しながら伝え合うことができる。	日常的な話題や社会的な話題について，客観的な事実や様々な考え等に基づいた自分の意見・主張とその理由等を、経験したことの例示などとともに、聞き手の理解に応じて繰り返したり、強調したりしながら話すことができる。☆	日常的な話題や社会的な話題について，聞いたり読んだりしたことについて、話題に対しての賛否や自分の意見を述べたり、その理由や根拠を明確に述べたりしながら、内容を整理して、読み手にわかりやすい文章を書くことができる。☆	日常的な話題や社会的な話題について，自然な口調で話される英語を聞き，社会で起こっている出来事や問題に関わる話題など、ある程度の情報が含まれるまとまりのある英語の要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について，イラストや写真、図表なども参考にしながら、簡単な語句や文で書かれたものから複数の情報を読み取り、要点を捉えることができる。
＜中学校第２学年＞ 日常的な話題や社会的な話題について，自分の経験等に基づいた考えや気持ちとその理由、具体例や事実等、まとまった内容を整理して伝えた上で、伝えた内容に対する質問に応答しながら、対話がより継続・発展させて伝え合うことができる。	日常的な話題や社会的な話題について，自分の経験や他教科等で学習したことにも等いた事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、その理由なども踏まえて、まとまりのある内容になるように構成を工夫しながら話すことができる。☆	日常的な話題や社会的な話題について，事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、文と文の順序や相互の関連に注意したり、文章構成の特徴を意識したりしながら、まとまりのある文章を書くことができる。☆	日常的な話題や社会的な話題について，自然な口調で話される英語を聞き，仲間の予定や将来の夢、短いスピーチやメッセージなど、内容に一貫性のあるまとまりのある英語の要点を捉えることができる。	日常的な話題や社会的な話題について，予定表やエッセイ、説明文など簡単な語句や文で書かれたものから、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、まとまりのある文章の要点を捉えることができる。
＜中学校第１学年＞ 関心ある事柄や日常的な話題について，自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を、相手の発話に応じて、関連した質問や意見を述べたりするなどして、対話を継続させながら、即興で伝え合うことができる。	関心ある事柄や日常的な話題について，自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を、その場で考えを整理して、重要な情報に強勢を置いたり、つなぎ言葉や言い直し、身振り手振りなどを用いたりして即興で話すことができる。☆	関心ある事柄や日常的な話題について，趣味や好き嫌い、筆記や短い説明などを、文構造や文法事項を正しく用いて正しい語順で文を構成したり、読み手に伝えたい内容を整理したりしながら、文章を書くことができる。☆	日常的な話題について，自然な口調で話される英語を聞き，学校行事の説明や持ち物、天気予報や交通情報など、目的や自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができる。	関心のある事柄や日常的な話題について、広告やパンフレット、電子メールなど簡単な語句や文で書かれた物から、目的や自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができる。

☆県の例より

小学校・外国語科の目標

※学習指導要領参照

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり※育成することを目指す。

＜第６学年＞ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、楽しかった思い出や将来のことなどを、相手の理解に応じてゆっくり言ったり繰り返したりしながら、その場で質問したり答えたりして伝え合うことができる。	身近で簡単な事柄について、将来の夢や小学校の思い出、地域への願いなどを伝えようとする内容を整理して、ＯＫ？などと聞き手の理解を確かめながら話すことができる。	小学校の思い出や将来の夢を伝える例文を参考にして文を書くことができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、イラストや写真などを参考にしながら、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を聞いて、必要な情報を得ることができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、例示やパンフレット、絵本などから音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を正しく発音したり、必要な情報を得たりすることができる。
パフォーマンステスト課題例 メロディ先生は、あなたが修学旅行でどんな思い出を作ったか、知りたいそうです。そこで、あなたが修学旅行でしたこと、楽しんだことなどについて１分間で話しましょう。	メロディ先生は、中学校生活で楽しみにしていることやがんばりたいこと、将来の夢などを知りたいそうです。自分の夢について、学習した表現を使ってスピーチしましょう。			
＜第５学年＞ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、学びたい教科や生活習慣などをＯＫ？などと聞き手の理解を確かめながら伝え合うことができる。	自分のことについて、趣味や得意なことなどを、伝える順番を考えるなどして内容を整理して話すことができる。	外国の友達に紹介したい日本の行事や遊びなどについて、例を参考にして単語を書くことができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞いてそれらを表すイラストや写真などと結びつけたりして具体的な情報を聞き取ることができる。	日常生活に関する身近で簡単な事柄について、例示やパンフレット、絵本などから音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を正しく発音し、それらの意味が分かる。
パフォーマンステスト課題例 あなたは大垣の町を歩いています。ばったり出会った外国の方が道を尋ねてきました。相手の要望を聞きながら案内をしましょう。	はじめて日本に来る外国の方に、自分の紹介したい日本の文化や行事、季節などとその理由について、体験できることやよさなども合わせて伝えましょう。			
＜第４学年＞ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の好きな学校での場所や生活時間帯などを簡単な理由とともに、聞き手の理解を確かめながら伝え合うことができる。	自分のことについて、好きなものなどを、その理由とともに話すことができる。	自分がおすすめできる食べ物などについて例を参考にして単語を書き写すことができる。	自分に関する簡単な事柄についての質問を理解して、反応することができる。絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容がわかったりする。	アルファベットの活字体の小文字を読むことができる。
パフォーマンステスト課題例 ＡＬＴやＶＥＴの先生に”Who am I?”クイズを出しましょう。ヒントに「〇時に～をします。」など日課に関わる文２つとスペシャルヒントとして自分らしさが伝わる文を入れましょう。先生から質問もあるので、答えましょう。	友達と「食べ物カード」をやりとりして作ったオリジナルピザを友達に紹介しましょう。トッピングを選んだ理由も加えて紹介しましょう。			
＜第３学年＞ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の好きな生き物や食べ物、スポーツなどを簡単な理由とともに、聞き手の理解を確かめながら伝え合うことができる。	自分のことについて、好きなものなどを、簡単な理由とともに話すことができる。	アルファベットの音を発音しながら例を参考にしてアルファベットの活字体の大文字、小文字を書き写すことができる。	自分に関する簡単な事柄についての質問を理解して、反応することができる。絵本などの短い話を聞いておおよその内容が分かる。	アルファベットの活字体の大文字を読むことができる。
パフォーマンステスト課題例 遠くにいる友達と遊ぶ約束をします。何をして遊ぶか、とその遊びや天気にあった服装を提案したり質問したりして相談しましょう。	バーベキューの食材を買いに来た人へ、その店員としておすすめの商品を売ることになりました。おすすめの商品とその理由を伝えましょう。			

小学校・外国語活動の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり※育成することを目指す。　※学習指導要領参照

＜第２学年＞ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、好き嫌いや欲しい物、持ち物などを、サポートを受けながら相手の言葉にＯＫ．と反応したり、動作を交えたりしながら、質問をしたり質問に答えたりする。	日常生活に関する身近で簡単の事柄について，お気に入りの物や場所などを、具体物等を指し示しながら、適切な音量で話す。			
＜第１学年＞ 基本的な表現を用いて挨拶や簡単な指示などをしたり、それらに応じたりする。また、自分のことや身の回りの物について、自分の気もちなどを動作を交えながら伝え合う。	自分のことについて、この １ 年でできるようになったことを人前で実物を見せたり、実際にやって見せたりしながら、相手の目を見て話す。			